

No.	提出された意見	意見に対する市の考え
1	<p>1. 初めに 木更津飛行場周辺まちづくり構想について基本的に賛成することはできません。新たなにぎわいの場としてのまちづくりと安心安全のまちづくりは基本的に合い入れない部分があり、計画は別々に考えるべきだと思います。 第一に考えなくてはいけないのは市民の安心・安全面です。もっと時間をかけ安心・安全の住民の声を拾い上げるべきです。住民がどんなまちづくりを望んでいるのか市が把握することが大切だと思います。まちづくりはそこに住み続ける住民の考えが生かされて初めて成り立つと思います。 以下は飛行場周辺まちづくり構想に対する問題点、疑問です。</p> <p>【安全・安心面から】 1. 木更津市の災害マップから（平成19年・20年・22年発行から）見た4つの地域（江川総合運動公園・吾妻公園・木更津駅周辺・旧庁舎跡地）とその周辺地域 （1）木更津市防災マップの想定された災害から見ると（危険度が色別なので区別しにくい。水等の数値はもう一段階上かもしれない）マップは2021年3月作成。 ・河川の氾濫では、4つの地域は矢那川・小櫃川の下流域に当たり浸水が考えられる。最大規模の雨量では、浸水の深さ0.5mを超え、水が引いて0.5mを下まわる時間を見た時、江川総合運動公園24～72時間。他地域は12～24時間。ほとんどが数日、水浸しになる危険性がある。江川運動公園はマップでは避難指定場所にバツがついている。（原則開設しない） ・津波では頻度は少ないが、発生すれば甚大な被害をもたらす最大クラスの津波が沿岸に到達する可能性がある。4地域は1～3m、低い箇所でも0.5～1.0mの水域にある。江川運動公園はマップでは避難指定場所にバツがついている。（原則開設しない） ・台風では発達した低気圧で海面が上昇したり（高潮）、これが満潮と重なったりすると被害が大きくなる。この4つの地域は最大で1～3mの高さの危険性がある。江川運動公園はマップでは避難指定場所にバツがついている。（原則開設しない） ・地震では震源の位置・大きさ、4つの地域の地表・地盤の条件にもよるが、6段階で3～6段階あり、ゆれやすいに属している。 ・液化化の危険度では4つの地域が4段階の3～4段階で危険度が高い、やや高いに属している。</p> <p>【上記から考えられること】 ・単に公園を広げる、木々を植える、遊具を設置するのは違い、そこに建築物が建てられる、それも日常的に住民が使用する建築物であり、防災マップから見ても対象地域が被害にあいやすい、とても危険な地域であることがわかる。近年、政府の地震調査会が30年以内に高確率で3つの大きな地震が起きる事を発表している。これが毎年更新され、数値は少しずつ上昇している。最近も起きたばかりである。更に、気候の温暖化により世界的に豪雨が見られ、台風の大型化も進んでいる。防災マップからは川の増水、地震時の津波、液化化、台風などすべての災害にあう可能性が高い。そういう地域に建築物を新たに建てる事などとても考えられない。市長の承認を得て出した防災マップを市が否定することになる。 ・住民アンケートではどの地域でも津波、洪水対策を推進することが第一、防災公園を整備するが第二にあげられている。他の機能、建築物を建てる、移動させるなどは含まれていない。住民は純粋にその機能だけを求めているものであって地域、個々への対策を求めていると考えられる。 ・更に、江川総合運動場地域は周りが細い道、田圃等で整備されていない。築山を整備する計画があるが住民が災害時に移動するにしても細い道、液化化、車の混雑などを考えると動けるのか疑問である。県内外で築山を作った地域・会社もあるが、定期的な管理（木を植える、剪定する、土の崩落をくい止める、草刈り、夜間の非常灯の設置、管理等）と避難訓練を地域では実施している。今後そのような負担を背負いきれるのか。 ・江川総合運動場地域は市街化調整区域、航空法が適用されるが、災害時に照明が必要となった場合、高さ、明るさ等確保できるのか疑問である。上記の築山の非常灯も含む。 ・図書館、公民館を移動させるメリットがどこにあるのか？住民はそれを望んでいるのか疑問。図書館は学生だけでなく色々な年齢層の住民が使用する。今までの公民館、図書館は交通の便がよく、住民にも長年親しまれてきた。複合施設を否定するものではないが、できるだけ市の中心、現在と同じ地域が近く、安全な場所に建て、図書館の内容も充実させてほしい。学生の中には「木更津は文化都市ではない、つぎはぎ、あたりばったり、出たとこ勝負市政」との厳しい声がある。</p>	<p>【安全・安心面】 1 中心市街地から金田地区にかけてのエリアは、津波、高潮等の浸水想定区域となっておりますが、施設の設置が制限されるものではございません。これらのエリアは、本市の活力をけん引する重要な地区であり、これからのまちづくりを行ううえでは、防災対策を考慮した施設の整備を行う必要があると認識しております。 江川総合運動場周辺、吾妻公園のいずれも周辺には津波に対応した避難場所がないことから、周辺住民や施設利用者が避難できるような施設整備を検討しております。 また、施設整備にあたりましては、ハザードマップにおける浸水高を踏まえ、盛土等による浸水対策を講じる等、利用者の安全確保に努めてまいります。</p> <p>江川総合運動場周辺に整備する築山につきましては、防災機能を備えた公園として定期的な管理を行い、散歩や休憩等の場所として日常的に親しんでいただくことで、災害時にも円滑な避難行動につながるものと考えております。 また、照明等につきましては、航空機の飛行に影響を与えない範囲での設置は可能となります。</p> <p>現在の図書館の敷地は狭いため、駐車場も含め必要な規模を有した図書館の建て替えが困難であり、さらに、見込まれる補助事業もございません。また、木更津駅周辺においても広い用地を確保することが困難なことから、十分な駐車台数が確保でき、施設整備に対する財政負担の軽減も可能な吾妻公園に、多目的ホール・公民館などの複合化を検討しております。 なお、アクセス面については、巡回バスの運行等により、車以外で来訪する方の利便性確保の検討も進めてまいります。</p>

No.	提出された意見	意見に対する市の考え
1	<p>2. 木更津駐屯地から考えること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害は自然災害だけではなく、他の面でも考えられる。例えば、木更津基地の航空機類もその一つになりかねない。基地の航空機が飛ぶその下に木更津市はある。もし航空機が墜落したらどうなるのか。そういうリスクのある場所に税金を出して、施設を建築することが住民にとってメリットがあるのか疑問である。特に米軍機オスプレイは日本の航空法による安全確認をうけていない。一般の民間機とは違う。これから考えると、いつ落ちてもおかしくない。周りの施設は危険である。基地周辺に落ちる事もそうだが、海や火力発電所に落ちて被害が広がる事も懸念する。落ちてからでは遅い。できるだけ建物の建築は避ける、これが住民の考えではないだろうか。 ・まちづくり支援事業は主として航空機騒音問題への対応策の一つとして実施するとある。という事は、4地域は騒音の中にあるという事である。なぜわざわざ危険がある騒音地帯に文化施設を建築するのか。窓やドアを開けると航空機の音がするそんな施設を建築するメリットが分からない。 <p>【新たなにぎわいの面から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木更津市の衰退の原因がどこにあったのか、モータリゼーション化、他、原因と考える言葉が並んでいる。それに対し市としてどんな対策をしたのか見えてこない。金田、築地などに大きな店舗を呼び寄せることで中小業者、小売り業者に影響がでると考えなかったのか。まちの衰退につながると考えなかったのか。まちが自然に衰退したわけではなく、人為的、自治体の施策ミスではなかったのか疑問である。 ・まち中住居マンション建設の補助がなぜにぎわいの創出になるのか理解できない。マンションを建てたことでまちがにぎわうようになったのか。にぎわっているのは何で測ればいいのか。なぜ建築会社だけが補助がでるのか。他の職種はどうなのか。これも疑問である。あと何棟建てればいいのか。 ・景観でも駅前からの寺院がある隣に大きなマンションが建っていたり、小さい公園、古い寺院などがなくなり、木更津市の全体的なまちづくりの様子が全く見えてこない。マンションを建てているが危険性はないのか。(命はお金に代えられない)歴史のある文化が残されているのか、どんなまちにしたいのか景観も含め考える時だと思う。 ・開発を許可し、ニュータウンをあちこちに作るが、何年かするとゴーストタウン化している。それよりも空き家を登録してもらい希望する人に買ってもらう、上限を決めて補助金を出し、好きな間取り、内装に作り替えてもらうなどの施策なら、地域に老若男女問わず、いろいろな年齢層が入り混じって住めるのではないかと。空き家対策を初め中小業者から地域の業者まで関わり、地域活性化にもつながると思う。他にも先を見据えた政策が必要。 <p>とにかく、木更津市は地の利もよく地理的にも良い所にあります。ずーっと住んでいる人はこの良さをなかなか実感できないかもしれません。「木更津っていいとこだね。ここにずっと住みたいな」と思うまちづくり、生活環境づくりをずっと先を見据えて行うことが大事だと思います。地道でもいいです。大きな箱ものは最低限あればいいです。予算内でできる事、できるものを計画的に少しずつ時間をかけて丁寧に行っていくことが大切です。</p> <p>そのためにも、市は、いろいろな情報を公開してください。良くも悪くも情報を公開することが住民の信頼を得ることにつながります。市民は本当の事が知りたいのです。木更津は自然と歴史のあるまちです。自然と歴史、市民の安全を守ることがにぎわいを取り戻すカギです。木更津を安易に基地に依存するまちにはいけないと思います。</p>	<p>2</p> <p>航空機の運用・整備につきましては、今後も引き続き、安全対策の徹底を働きかけてまいります。</p> <p>また、基地と隣接している立地を考慮し、十分な騒音対策も備えた施設づくりを検討してまいります。</p> <p>【新たなにぎわいの面】</p> <p>広域交通網の整備によるモータリゼーションが進展した影響で、中心市街地の空洞化が深刻化したため、「みなと木更津再生構想」に基づき、臨海部未利用地等を活用した経済活動が展開するまちづくりを進めてまいりました。</p> <p>また、「木更津市基本構想」における「みなとまち木更津再生プロジェクト」により、築地地区、内港地区、駅周辺地区の回遊性誘発によるみなとの再生への取り組みを進めております。</p> <p>「中心市街地活性化基本計画」におきまして、遊休地を有効活用したマンション建設により、街なか居住を推進することで日常的な活性化を図ることとしており、建設補助のほか、居住者に対する取得補助も実施しております。また、中心市街地における人口社会増を目標としております。</p> <p>多様で豊かな景観資源を継承するため、景観条例を制定するとともに、景観計画を策定し、地区の特性を踏まえたまちづくりを推進しております。</p> <p>さらに、中心市街地においては、富士見通り沿道を木更津駅みなと口景観形成重点地区に指定し、賑わいづくりのきっかけや、周辺に点在する歴史的景観資源などと調和したまちなみの景観を形成する方針です。</p> <p>空家バンク・リフォーム助成事業により、移住定住及び地域の活性化を促進するため、登録された空家のリフォームに対する助成を実施しております。</p> <p>「新たなにぎわいの場」、「安心安全なまちづくり」の両立は、「みなとまち木更津の再生」を目指す本市にとって重要なものとなります。</p> <p>今後も積極的な情報提供と意見をいただく機会を作り、より多くの声を施策や計画に反映してまいります。</p> <p>また、これまでも基地と共存したまちづくりを行ってきた本市の歴史を踏まえ、施設整備に対する財政負担の軽減を図るため、「まちづくり支援事業」の活用を目指してまいります。</p>
2	<p>今後の具体化に向けた基本計画等の検討にあたっては、「環境整備法第8条」の内容として、防衛施設の運用による周辺地域の住民生活及び事業活動の安定に寄与する施設整備などとされていることから、本構想案で示す重点地区の施設整備・利用との良好なバランスが継続的に維持されるよう、周辺住民だけでなく、多くの市民に効果等がイメージできるよう、基本計画等で具体的に示していただきたい。</p> <p>また、多くの市民に重点地区の施設を利用していただくことと、防衛施設の運用には、交通環境等の継続的な整備が重要となると思われるので、大型の防衛車両の通行等による周辺住民の安全安心の確保や、車道・歩道に加え自転車利用も考慮した規格への改善、沿道の市街化調整区域の規制誘導、事業活動による大型車両通行・交通量の増加への対応などについても、併せて考え方を示していただきたい。</p> <p>さらに、重点地区は、木更津の港の歴史と発展の舞台であるので、港と人々の歩んできた痕跡を残しつつ、木更津飛行場整備へ多くの市民が協力してきたことなども含め、新たに市民になられるなど多くの方々に木更津の多様性を感じていただける工夫もお願いしたい。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、今後策定するまちづくり基本計画において、より具体的な機能や規模、配置計画をお示しするとともに、周辺道路の交通対策及び沿道の規制等についても検討してまいります。</p> <p>また、ご意見のとおり、本市と自衛隊の歴史的、文化的、人的なつながりを考慮し、今後策定するまちづくり基本計画において、自衛隊と市民との関係を展示するスペースについても検討してまいります。</p>

No.	提出された意見	意見に対する市の考え
3	<p>木更津飛行場周辺まちづくり基本構想（素案）では、江川総合運動場南側の国有地を多目的広場として、2か所整備することになっていますが、現在、江川総合運動場内のちびっこ広場に隣接する多目的広場の利用者がまばらであり、南側の国有地を更に多目的広場として整備することは過剰投資であると考えます。</p> <p>木更津市公共施設再配置計画では、P.55図表2-56に各公民館の施設別稼働率の比較が整理され、そのうち、P.56に岩根公民館、P.57に岩根西公民館の稼働率が示されています。2014年度の両施設の全貸室稼働率は、それぞれ、岩根公民館25.1% 岩根西公民館47.4%であり、直近のコロナ禍を除いた稼働率も、2014年度以降、低下の一途をたどっていると推察します。</p> <p>また、再配置計画では、将来的には都市計画マスタープランで定める旧行政区単位を基本として、公民館の統合を進めることとなっているため、今後、岩根地区では、老朽化が進む公民館の統合について、検討をしていくこと必要になります。</p> <p>このため、木更津飛行場周辺まちづくり基本構想（素案）上、多目的広場の整備予定地としている江川総合運動場南側の国有地の1か所へ、調整も必要かと思われませんが、都市計画道路岩根駅東口線予定地上にあり、駐車場も利用しづらく周辺道路も狭陰で稼働率の低い岩根公民館を、江川総合運動場へ徒歩数分と近接し、まちづくり基本構想対象範囲にある岩根西公民館と統合した、新たな公民館の整備を検討の対象としていただけないか。</p> <p>2施設を統合した新たな交流を生む施設となることや、袖ヶ浦中島木更津線など周辺道路の整備も進み、重点地区の更なる発展が期待できること、また、国庫補助の活用も検討できるため、市の財政負担等の軽減も図られるものと考えます。</p>	<p>江川総合運動場南側の国有地につきましては、木更津駐屯地内滑走路の延長線上に立地しており、航空法の規制により、建築物の設置ができないことから、平時はイベントに、災害時には臨時駐車場としても利用可能な多目的な広場を整備することとしております。</p> <p>公民館につきましては、公共施設再配置計画における方針に基づき、学校やその他施設との複合化に向け、検討を進めてまいります。</p>
4	<p>素晴らしい計画だと思います。早期実現を期待します。</p> <p>地域住民にとってさらに安心な計画となるよう、意見をさせていただきます。</p> <p>江川総合運動場整備イメージ図がありますが、防災機能を持たせるには道路ネットワークが弱いと考えます。</p> <p>災害時の避難路としてだけでなく、復旧復興時には物資や資機材の輸送路としても機能する道路整備が大切です。</p> <p>縦・横に複数の避難路・輸送路として機能する道路整備を計画に取り入れてもらえるとさらに安心な計画になると考えます。</p> <p>防災上の位置づけをするのであれば、災害時の避難路&輸送路として機能する複数の道路整備（拡幅）が必要だと考えます。</p> <p>（道路啓開、くしの歯作戦）自衛隊基地が隣接しているため、複数陸路の輸送路が整備されていれば避難した市民の安心にもつながるのではないのでしょうか</p>	<p>本市が更なる魅力的なまちとしてあり続けるため、「みなとまち木更津の再生」に向けた取り組みを加速させるとともに、市民が安心安全に暮らせるよう「災害に強いまちづくりの実現」のための施設整備等を目指してまいります。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、今後策定するまちづくり基本計画において、より具体的な機能や規模、配置計画をお示しするとともに、周辺道路の交通対策等についても検討してまいります。</p>

No.	提出された意見	意見に対する市の考え
5	<p>日頃より、木更津市の更なる発展のためにご尽力いただき誠にありがとうございます。厳しい財政の中「みなと町木更津の再生」に向けた取組は苦肉の策と思われるが、本市の重要な施設はほとんど市内西端、海の近くに集中し、多くの市民からは遠く不便に感じます。(朝日庁舎は英断)更に、今後半世紀にもわたり使用するであろう図書館、中央公民館、多目的ホール、防災活動拠点機能複合施設などを「吾妻公園」内に造るとの構想については以下の理由で反対します。</p> <p>1. 防衛省からの補助金活用 なぜ補助金が出るのでしょうか・・・危険なことや騒音問題があるからではないでしょうか。題記基本計画はロシアによるウクライナ侵攻前の平和なときに検討されたと思います。しかし、侵攻時、真っ先に軍事基地が攻撃されています。明日をも知れぬ現在、今後半世紀以上にわたり若人達が利用するであろう施設は少しでも基地から離すべきだと思います。又、現在、多くのオスプレーが来ておりますが、5年で移動させられますか？居座るための補助金となりませんか・・・？心配です。</p> <p>2. 浸水対策 市の防災ハザードマップを見ると金田江川・吾妻地区はいずれも全て浸水想定域であり、建物は盛土をしても付近一帯は水没し、陸の孤島となりませんか？今後、台風や大雨、地震に伴う津波等の自然災害の大型化が予想されており、防災活動拠点としては不向きではないかと思えます。</p> <p>3. 松林(防風林)の保全と活用状況 昔は全国各地に多くあった松林も、開発によってコンクリート化し非常に少なくなりました。吾妻公園は貴重な場所となっております。吾妻公園は町にも近く手頃な広場もあり、小さな子を連れて親子や小学生が多く遊び、松林を散歩する人、ランドゴルフを楽しむ人など多くの方々憩いの場となっております。また、市営弓道場では老若男女が日々練習に励んでおります。</p> <p>以上 私の提案として、吾妻公園に計画しているものは、利便性や防災上のことを考慮すると(飛行場周辺まちづくり構想からは外れ補助金対象外かもしれませんが)、出来るだけ内陸部につくるべきだと思います。人口比や利便性、用地確保等を考えると、一例として内房線東側の長須賀地区、または国道16号線東側の永井作地区が考えられます。いずれも現在は農地で多少時間がかかるかと思われるが、耕作放棄地も増え、既に虫食い開発も始まっております。乱開発される前に計画的造成を行い、建設地を確保すべきだと思います。以上</p>	<p>1. 防衛省からの補助金活用 本まちづくり基本構想は、自衛隊等の航空機の騒音により周辺地域の住民の生活などが阻害されている状況において、その障害の緩和に資する施設の整備を通じて防衛施設存在を前提としたまちづくりを行う場合に、国がその一部を補助する「まちづくり支援事業」の採択を目指すものであり、オスプレー配備に関連する補助事業ではありません。 なお、安全確保につきましては、全ての航空機の運用・整備についての安全対策の徹底を引き続き働きかけてまいります。</p> <p>2. 浸水対策 江川総合運動場周辺、吾妻公園のいずれも周辺には津波に対応した避難場所がないことから、周辺住民や施設利用者が避難できるような施設整備を検討しております。また、施設整備にあたりましては、ハザードマップにおける浸水高を踏まえ、盛土等による浸水対策を講じる等、利用者の安全確保に努めてまいります。</p> <p>3. 松林(防風林)の保全と活用状況 松林(防風林)につきましては、環境保全の観点から可能な限り既存防風林を残した施設計画の検討を進めてまいります。</p> <p>本まちづくり基本構想につきましては、「みなとまち木更津の再生」に向けた取り組みを加速させるとともに、市民が安心安全に暮らせるよう「災害に強いまちづくりの実現」のための施設整備等を目的とし、施設整備に対する財政負担の軽減を考慮し、「まちづくり支援事業」の採択を目指すなかで、吾妻公園を活用した文化芸術施設の整備を検討してまいりました。 巡回バスの運行等による利便性確保や、上記の防災への対応も踏まえ、引き続き吾妻公園における複合化を検討してまいります。</p>
6	<p>新しい文化ホール、狭くなった図書館の改築、新しい中央公民館、いずれも市民が望んでいるものである。それぞれの施設について、多くの市民や有識者も含めての十分な検討がなされるべきであり、一つ一つの施設について他の自治体の施設の調査も行うべきである。しかし、今回の基本構想(素案)の提示は、その検討過程が不透明であり、余りに拙速すぎると言わざるを得ない。</p> <p>それぞれの施設がこれまでのものとは比べ良い施設になるのか、疑問を持たざるを得ない。なにより、その集合施設が吾妻公園に建てられることについては、防災上の点、静謐を求められる施設である事を考えると、その場所が不適切であると言わざるを得ない。</p> <p>まずは、本市の文化ホール、図書館、中央公民館に市民が何を望むか、現在働いている職員にどのような要望がある、そして「文化都市」としてどのような施設が相応しいか、一から検討すべきである。</p>	<p>本まちづくり基本構想における施設整備につきましては、検討委員会による協議に加え、市民意向調査における結果及び「公共施設再配置計画」における方針に基づき、複合化の検討を進めてまいりました。</p> <p>今後は、基地と隣接している立地を考慮し、十分な騒音対策も備えた施設づくりを検討してまいります。</p> <p>また、図書館機能につきましては、今後策定する図書館整備計画を踏まえるとともに、ホール機能につきましては、令和2年6月に策定した「中規模ホール整備基本計画」で示すホールの方向性を踏まえた整備を進めてまいります。</p>

No.	提出された意見	意見に対する市の考え
7	<p>【質問1】「公共施設整備基金は、基金の設置をしたときからの30年間、平成29年から平成58年の建築及びインフラの更新にかかわる費用を、当時の木更津市公共施設等総合管理計画の中から、推計をしている。この中で、建築に係る事業費を約850億円、インフラに係る事業費を約620億円と見込み、国費や起債額を除き、一般財源投入額をそれぞれ141億円と77億円、計218億円、30年間で割ると年間平均7.3億円と見込んだ計画」であった。このことからの疑問がいくつか浮上する。それに対する説明を求むがいかがか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防衛省の補助率が高いからという今回のプランは、上記の年間平均7.3億円での見込みでは市の独自財源がたりないということの意味するのではないか。 ・それとも、公共施設を削るものの、他にお金を使いたいから補助率の高い防衛省の補助金にするのか。 <p>【質問2】吾妻公園への設置のメリットとともに、デメリットも併記を求むがいかがか。デメリットの解決策を掲げてこそ、より良いものになる。メリットのみでは誘導になる。</p> <p>【質問3】中央公民館は、第一中との複合化が変更になった。図書館は、それ自体の複合化は市民も議会も寝耳に水だった。そして、吾妻公園に建設ということは、市民に全く考える余地もない形で、基本構想の意見公募となった。説明不足だった。では、どの時点でどのようにしたら、市民に唐突なもの判断されなかったと考えるか。私は、少なくとも、基本構想を策定依頼する業者への内容提示していた時点でアクションを起こすべきだったと考えるがいかがか。</p> <p>【質問4】中心市街地というが、これは、現在の中心市街地ではなく、(昭和の)中心市街地である。中心市街地への人の回遊というが、何を目的に人が回遊するのか、新しい市役所は、回遊の拠点にはならない。私は、回遊の目玉に、図書館を駅周辺にと考える。旧中央公民館の敷地は、3956.87㎡ここに図書館を建設する。浸水を考慮し、2階以上に図書をおく。図書館の場合、国土交通省社会資本整備総合交付金 市街地整備事業は1/3の補助があるのではないかと。</p> <p>【質問5】防衛省の補助金をつかわなければという論理は、質問1でも述べた見込み違いだったということ認めることになるのではないかと。少なくとも、図書館をどこにするか、市民に一度も聞かずに吾妻公園にというのは、あまりにも、市民を議会をないがしろにしている。いくつかのパターンのメリット、デメリットを提示し、市民が納得できる場所、そして、建物を考えるべきと思うがいかがか。</p> <p>意見 防衛省の補助金に飛びついた理由は、補助金の割合が高いからであり、まさに、自己資金のなさによるものである。しかし、公共施設の耐用年数は、建てたときからわかっていたわけで、少なくとも、庁舎積立の際、他の公共施設のことも真剣に考え、市民と課題を共有すべきだった。</p>	<p>1 公共施設整備基金につきましては、「公共施設等総合管理計画」の試算値をもとに、単年度においては、国費充当率を1/3、一般財源投入額を7.3億円と推計しており、一般財源所要額が7.3億円を超える場合はその金額を基金から取り崩し、7.3億円に満たない場合はその金額を基金へ積立てることとしております。実際の施設整備にあたりましては、補助事業によって補助率に差異があるなかで、可能な限り施設整備に対する財政負担の軽減を図ることとしており、中規模ホールの整備については、見込まれる補助事業がなかったことから「まちづくり支援事業」の活用を目指しております。</p> <p>2 メリットといたしまして、①恵まれた敷地を活用できる、②周囲に津波に対応した避難場所がないことから、周辺住民の避難場所となる、③公園としての再整備が図られるといった点が挙げられます。デメリットといたしまして、①浸水想定区域における防災対策が必要、②駅からの距離が離れるといった点が挙げられますが、ハザードマップにおける浸水高を踏まえ、盛土等による浸水対策を講じること、巡回バスの運行等による利用者の安全性・利便性の確保の検討も進めてまいります。なお、デメリットの記載について、①に関しては、まちづくり基本構想P.11課題の欄に「津波などの影響を受けやすいため、対策の検討が必要です。」、P.21整備イメージ図に「盛土」を表記しております。また、②に関しては、P.19に「利用者の利便性向上を図るため、現在運行している巡回バスの運行経路を吾妻公園まで延長することについてもあわせて検討します。」と表記しております。</p> <p>3 文化芸術施設につきましては、市民意向調査の結果により、ホール、図書館、公民館の複合化を求める意見が多かったことや、恵まれた敷地を活用できることから、吾妻公園を新たな候補地として、検討を進めてまいりました。なお、各施設の詳細な検討を行うまちづくり基本計画策定におきましても、市民の皆様のご意見を伺う機会を設けてまいります。</p> <p>4 旧中央公民館敷地におきましては、広い用地を確保することが困難なことから、十分な駐車台数が確保でき、施設整備に対する財政負担の軽減も可能な吾妻公園における複合化を検討しております。なお、図書館における国土交通省社会資本整備総合交付金につきましては、補助要件を満たしていない状況です。</p> <p>5 現在の図書館の敷地は狭隘なため、駐車場も含め必要な規模を有した図書館の建て替えが困難であり、さらに、見込まれる補助事業もございません。また、木更津駅周辺においても広い用地を確保することが困難なことから、十分な駐車台数が確保でき、施設整備に対する財政負担の軽減も可能な吾妻公園に、多目的ホール・公民館などの複合化を検討しております。さらに、図書館の整備に係る詳細につきましては、今後策定する図書館整備計画において検討してまいります。また、各施設の詳細な検討を行うまちづくり基本計画策定におきましても、市民の皆様のご意見を伺う機会を設けてまいります。</p>

No.	提出された意見	意見に対する市の考え
7	<p>【質問6】市民意向調査で、中ホールの立地条件への要望は、緑や公園などのくつろげる場所がよいなどあったというが、それは、市民意向調査の何ページにあったのでしょうか。どのような問いかけであったのか、知りたかったが、調べてもわからなかった。基地の隣にある公園はどうかということは問いかけなかったのか。</p> <p>【質問7】吾妻公園に複合化した公共施設を再配置するのに防災面で懸念することがあまりにも多く、防災に強いとは言いにくい。まちづくり基本構想には、ハザードマップの危険性を明らかにし、それに対する対応策も掲載すべきではないか。ここに、複合化施設を、それも、「災害に強いまちづくりの実現」のための施設整備等を 目指すというのだから、それぞれ、どのように対応するのかを示すべきではないか。300台から500台の車が駐車する。それらが浸水時、流れ出すことで家屋の倒壊は想像を超えるのではないか。幹線道路は、渋滞になりがちで、いざというとき、逃げ遅れはしないか。</p> <p>【質問8】高校生など、バスに乗ってまで吾妻公園の図書館には行かない。無料循環バスを吾妻公園にのばすことも検討しているのは、いかがなものか。図書館や公民館だけならまだしも、中規模ホールも一緒なので、イベントがあるときとないときと、利用がアンバランスで、確実に時間に間に合いたい中規模ホール利用者があふれたら、不満はたかまるのは、目に見える。また、市内循環の路線バスも八幡台や大久保は、アクセスしにくい状況である。日々の市民の暮らしを重視した路線バスの運行を望む。</p> <p>【質問9】新宿交差点は、いまでさえ、渋滞している道路であり、吾妻公園に中規模ホールを建てた場合、さらに渋滞が断続的に起こるのではと懸念する。高速バスの定時発着にも影響する。このことについては、いかが考えるか。</p>	<p>6 本まちづくり基本構想策定にあたり実施した「ホールの立地条件と機能についての市民意向調査」につきましては、「まちづくり基本構想」P28、29に記載しております。調査にあたっては、基地の隣にある公園といった限定した質問ではなく、利用しやすい立地を問う質問となっております。</p> <p>7 吾妻公園の周辺には津波に対応した避難場所がないことから、周辺住民や施設利用者が避難できるような施設整備を検討しております。また、施設整備にあたりましては、ハザードマップにおける浸水高を踏まえ、盛土等による浸水対策を講じる等、利用者の安全確保に努めてまいります。</p> <p>8 図書館につきましては、施設整備に対する財政負担の軽減を図るとともに、十分な駐車台数の確保も見据えたうえで、吾妻公園における複合化を検討しております。また、複合化の際は、巡回バスの運行等による利便性確保の検討も進めてまいります。なお、路線バス等の運行につきましては、担当部署へ情報共有させていただきます。</p> <p>9 施設整備にあたり、車両の分散を図るため出入口を数か所確保する等、渋滞対策の検討を進めてまいります。なお、計画地は片側2車線道路に面しており、市内において最も交通環境の充実した地区と考えております。</p>
8	<p>文化複合施設の建設については、大賛成です。</p> <p>現在の自衛隊との交流ということに限らず、国防という観点で、君津4市では万葉の時代に防人として当地区より若者が派遣されており、万葉集には、彼ら防人が詠んだ三首の歌が載せられています。その後、第二次世界大戦時には、市民の協力体制で太田山に対空砲を配備したり、防空壕を作ったり、また馬來田、烏田地区などでは米兵に対する人道的な対応もしております。その後、自衛隊が組織されてから、馬來田と市原市を結ぶ県道の建設、木更津中央高校（現：木更津総合高校）開校時の自衛隊からの協力や、昭和45年の洪水災害、一昨年の台風15号時の支援も記録しておくべきだと思います。長い歴史と市民との関係、そういうものを展示したスペースが交流の場にあると良いと思います。</p>	<p>本市が更なる魅力的なまちとしてあり続けるため、「みなとまち木更津の再生」に向けた取り組みを加速させるとともに、市民が安心安全に暮らせるよう「災害に強いまちづくりの実現」のための施設整備等を目指してまいります。</p> <p>また、ご意見のとおり、本市と自衛隊の歴史的、文化的、人的なつながりを考慮し、今後策定するまちづくり基本計画において、自衛隊と市民との関係を展示するスペースについても検討してまいります。</p>

No.	提出された意見	意見に対する市の考え
9	<p>5-3整備方針(2)吾妻公園 文化芸術活動等の機能を中心とした世代間交流の拠点となる施設づくりの方針(P.19-16行目から)</p> <p>・また、災害時に防災活動の拠点となる機能も複合した施設として、周辺住民の避難所機能、基地と近接する立地を活かすとともに、公園に面している幹線道路は千葉県が指定する緊急輸送道路の一次路線となっていることも踏まえ、支援物資の搬入場所となる施設を整備します。</p> <p>施策に賛同するとともに、以下に内容を追記することをご提案いたします。</p> <p>・また、災害時に防災活動の拠点となる機能も複合した施設として、周辺住民の避難所機能、基地と近接する立地を活かすとともに、公園に面している幹線道路は千葉県が指定する緊急輸送道路の一次路線となっていることも踏まえ、支援物資の搬入場所となる施設を整備します。避難所となる施設には、非常用発電機等の導入を促進するとともに、エネルギー供給源の多様化を図り、自立・分散型エネルギーの導入を促進します。</p> <p>【理由】 令和元年9月の房総半島台風では、千葉県でも長期間に渡る停電が発生し、市民の日常生活に支障が生じました。市民の避難所となる施設に、自立。分散型エネルギーを導入することで、長時間の電力供給が可能となり、災害時にも強い施設になると考えます。また、木更津市の「国土強靱化地域計画」にも、以下のとおり記載されております。 P.80「3-2 市の職員・施設等の被災による機能の大幅な低下」 <強靱化の現状と課題（脆弱性評価結果）> <2>施設・備蓄品の整備 ○自立・分散型エネルギーの整備 避難所等への非常用電源等の備蓄を進めている。 今後も、防災拠点や災害時に機能を保持すべき施設への自立・分散型エネルギー整備を進める必要がある。</p>	<p>本市が更なる魅力的なまちとしてあり続けるため、「みなとまち木更津の再生」に向けた取り組みを加速させるとともに、市民が安心安全に暮らせるよう「災害に強いまちづくりの実現」のための施設整備等を目指してまいります。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、「その際、非常用電源等の導入や、自立・分散型エネルギーの導入を検討します。」の記述を追記させていただきます。</p>
10	<p>市では、この案件の中で、吾妻公園に於いて、様々な人が親しめる憩いの場とするため、幅広い世代の市民が訪れ、情報の発信ができる文化芸術施設を整備、ホール機能などを備え、図書館と公民館を複合させた施設を想定しています。これは市民アンケートを参考にした上で、施設の利用状況を踏まえ、駐車場500台分にしたとありますが、個人的には私の目の届かないところで、アンケートが実施されているようです。まず、図書館・公民館の利用者に意見を聞くのが普通です。一番の問題が交通の便です。この面で、現状の図書館は圧倒的に、利用価値が高いです。これの対策が見られません。又図書館の跡地活用については文京公民館増設も検討願います。中央公民館移設に於いても、もぬけの殻のアクアビルをどうするのか、この案も見られません。駅西口側のまちづくりをもっと市民に明らかにしてください、よろしく願います！又この貴重な意見公募制度についても活用者が13件の内、殆ど皆無に等しいのが残念です。もっと政策・公募制度を喧伝したらいかがでしょうか！公募中の案件を市HPばかりでなく市の広報にも載せてください。</p>	<p>現在の図書館の敷地は狭隘なため、駐車場も含め必要な規模を有した図書館の建て替えが困難であり、さらに、見込まれる補助事業もございません。また、木更津駅周辺においても広い用地を確保することが困難なことから、十分な駐車台数が確保でき、施設整備に対する財政負担の軽減も可能な吾妻公園に、多目的ホール・公民館などとの複合化を検討しております。</p> <p>なお、アクセス面については、巡回バスの運行等により、車以外で来訪する方の利便性確保の検討も進めてまいります。</p> <p>図書館敷地の今後につきましては、子育て世代の支援をより一層強化するための子育て支援施設を検討しております。</p> <p>公民館につきましては、「公共施設再配置計画」における方針に基づき、学校やその他施設との複合化に向け、検討を進めてまいります。</p>

No.	提出された意見	意見に対する市の考え
11	<p>まず、一市民としては思いがけない構想に驚いています。なぜなら、市民のことより、防衛省の意向が強くなったプランだからです。</p> <p>1. 例えば、現在の木更津図書館の場所に関して不満を抱く人はいないと思います。これから更に増える年寄や障害を持つ人の為にも歩いて行ける駅周辺、今の場所か、元の中央公民館の場所に、新しい図書館と公民館を一つにして再建して欲しいと考えます。吾妻で不便です。いくら立派な建物を作っても、市民に不便さを強いるのでは、結局使われず宝の持ち腐れになる可能性があります。</p> <p>2. プランが海のそばに集中し過ぎです。吾妻公園の場所に文化ホールを作り、災害時の避難場所や支援物資の搬入場所にするという説明ですが、本当に市民のことを考えて頂いているのでしょうか？東日本大震災のときには、木更津の漁船は津波で被害を受けたと吾妻在住の人から聞きました。もう少し海から離れた所に避難場所や支援物資倉庫を作るべきではないでしょうか。このプランが作られ始めたときは、まだロシアのウクライナ侵攻がないときだと思えます。今日の日本はロシアをはじめ、中国、北朝鮮の脅威も考えなくてはなりません。ウクライナの状況を見ても、飛行場や軍事基地はロケット砲の攻撃を受けています。更に劇場も。木更津の住民の安全を考えたら、もう少し基地より離れた所に文化ホールなどの施設は建てる方が良いと思います。</p> <p>3. 市は「基地の町が悩まされる騒音対策としてのお金のばら撒ぎ」にもっとアレルギー反応を示すべきです。自分たちの健康被害を引き換えに、文化施設を作ろうという考えはおかしいのですが、現在の平和で静かな木更津市の住民は、そのことに気づいていないのが現状です。50億の75%を費やして施設を作った後では、木更津市、市長、そして住民は何も言えなくなります。それが狙いなのでしょう。防衛省から資金の大半を貰って、身の丈以上の大きな施設を作ることが本当に市民の為でしょうか。防衛省に「これは止めて欲しい」と言える余地を残してください。</p> <p>私は木更津市が大好きです。また日本も大好きです。そして、この国が永遠であれと思うときに、国の防衛はとても大事だと思います。今日の世界情勢では防衛施設を拡充することは仕方がないと思いますが、住民の住んでいる所を軍事活用する為にカモフラージュの文化施設を作るとは止めて欲しいです。書いた内容を整理しますと、要点は以下のことです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館（公民館を含めて）は、駅の周辺に建てて欲しい。 ・プランが海のそばに集中していて、災害時に本当に役に立つのか疑問？ ・防衛省から資金を貰い過ぎのプラン。 	<p>1 現在の図書館の敷地は狭いため、駐車場も含め必要な規模を有した図書館の建て替えが困難であり、さらに、見込まれる補助事業もございません。また、木更津駅周辺においても広い用地を確保することが困難なことから、十分な駐車台数が確保でき、施設整備に対する財政負担の軽減も可能な吾妻公園に、多目的ホール・公民館などの複合化を検討しております。</p> <p>なお、アクセス面については、巡回バスの運行等により、車以外で来訪する方の利便性確保の検討も進めてまいります。</p> <p>2 文化芸術施設につきましては、施設整備に対する財政負担の軽減を図るとともに、十分な駐車台数の確保も見据えたうえで、吾妻公園における複合化を検討しております。</p> <p>航空機の運用・整備につきましては、今後も引き続き、安全対策の徹底を働きかけてまいります。</p> <p>3 本まちづくり基本構想は、自衛隊等の航空機の騒音により周辺地域の住民の生活などが阻害されている状況において、その障害の緩和に資する施設の整備を通じて防衛施設の利用を前提としたまちづくりを行う場合に、国がその一部を補助する「まちづくり支援事業」の採択を目指すものです。</p> <p>これまででも基地と共存したまちづくりを行ってきた本市の歴史を踏まえ、施設整備に対する財政負担の軽減を図るため、「まちづくり支援事業」の活用を目指してまいります。</p> <p>また、今後策定するまちづくり基本計画において、施設整備に係る維持管理経費も考慮した、適正な施設規模の検討を進めてまいります。</p>
12	<p>4月8日の中央公民館での説明会に参加し、その内容（基地の近くに公民館と図書館、コンサートホールなどの巨大な複合施設を建設する）に驚きました。またこの地域は木更津市発行の最新版ハザードマップで浸水危険区域に指定されている場所なのに、そのような所に多数の市民が集まる公共施設を建設して市民の生命が危険にさらされないでしょうか。そもそも防衛省のまちづくり支援事業に応募するかどうかについても市民の多くの民意を問うべきなのでは？たしかに建設費の75%を補助してもらえるのは助かります。でもそのために、もっと大切なものを木更津市は将来、失うことになりませんか？（転入人口の減少）</p> <p>私がもし、基地の隣りにある公園に図書館があったら、木更津には転入してきません。基地と共存するまちづくりというコンセプトにも絶対賛成できません。</p> <p>そもそも図書館の利用者である市民や学生の立場になれば、JR木更津駅近くにつくるべきでは？それもバリアフリーで。今の図書館の通路は狭くて車椅子の方は利用できないと思います。（トイレも）</p> <p>とにかくこんなに大切なまちづくりの構想なのに、450人のアンケートで民意を得たとする市の考え方が信じられません。もっと市民に広く周知してから市民と共に計画を作っていくべき。木更津市がもし民主的な自治体なら、白紙撤回し、改めて市民の皆に賛否を問うべきです。</p>	<p>吾妻公園の周辺には津波に対応した避難場所がないことから、周辺住民や施設利用者が避難できるような施設整備を検討しております。</p> <p>なお、施設整備にあたりましては、ハザードマップにおける浸水高を踏まえ、盛土等による浸水対策を講じる等、利用者の安全確保に努めてまいります。</p> <p>防衛省補助事業につきましては、これまででも基地と共存したまちづくりを行ってきた本市の歴史を踏まえ、施設整備に対する財政負担の軽減を図るため、「まちづくり支援事業」の活用を目指してまいります。</p> <p>現在の図書館の敷地は狭いため、駐車場も含め必要な規模を有した図書館の建て替えが困難であり、さらに、見込まれる補助事業もございません。また、木更津駅周辺においても広い用地を確保することが困難なことから、十分な駐車台数が確保でき、施設整備に対する財政負担の軽減も可能な吾妻公園に、多目的ホール・公民館などの複合化を検討しております。</p> <p>なお、アクセス面については、巡回バスの運行等により、車以外で来訪する方の利便性確保の検討も進めてまいります。</p>
13	<p>当案件のアンケートで「新しく整備すべき公共施設として図書館が最も多い回答」とありました。</p> <p>「新しく整備すべき」の言葉の中には 建物を新しくするだけでなく、蔵書内容や司書の配置等の図書館としての機能や、子どもや学生、お年寄りや障害を持った方など、多くの市民がなるべく平等に利用できる施設であってほしいとの希望が含まれています。しかし、現計画は車を運転して移動できる方だけの施設しか見えません。学生や免許を返上したお年寄りが、アクセスが悪い上にお金をかけて図書館に行くでしょうか？図書館は市街地にあるべきだと思います。</p> <p>財政的な負担軽減を重視して「木更津市民が望む」が欠落した施設を作ってもらいたくありません。特に未来を担う子どもや若者をないがしろにしないで欲しいです。</p> <p>意見公募により図書館だけでなく、策定内容が検討され木更津市民が望むより良い公共施設が建設されることを祈っております。</p>	<p>現在の図書館の敷地は狭いため、駐車場も含め必要な規模を有した図書館の建て替えが困難であり、さらに、見込まれる補助事業もございません。また、木更津駅周辺においても広い用地を確保することが困難なことから、十分な駐車台数が確保でき、施設整備に対する財政負担の軽減も可能な吾妻公園に、多目的ホール・公民館などの複合化を検討しております。</p> <p>なお、アクセス面については、巡回バスの運行等により、車以外で来訪する方の利便性確保の検討も進めてまいります。</p> <p>また、図書館の整備に係る詳細につきましては、今後策定する図書館整備計画において検討してまいります。</p>

No.	提出された意見	意見に対する市の考え
14	<p>吾妻公園について</p> <p>1. 中央図書館を吾妻公園の一面に設置することに大反対します。中央図書館は交通機関の利便性のいい所が必須です。</p> <p>2. お粗末な企画の第一印象です。防衛省まちづくり支援事業の一環として、建設費の75%の補助金を得て整備するのだが、当支援事業は航空機騒音問題への見返りです。吾妻公園の配置図は自衛隊基地の一部になっています。これでは、自衛隊基地の環境整備です。騒音問題の見返りと言いながら、何のことはない、基地整備です。</p> <p>3. 騒音問題見返りなら、図書館をどこに設置してもいいだろう。吾妻公園の一面は0Kだが、別の場所はN0とは肯げない。国をもっと使え！木更津には元防衛大臣もいるのだ。使え！</p>	<p>1 吾妻公園は、幹線道路（中野畑沢線）に面し、金田や袖ヶ浦方面とを結ぶ路線バスも多く運行するなど、良好なアクセス性を有しております。 なお、施設整備にあたっては、十分な駐車台数の確保を図るとともに、巡回バスの運行等により車以外で来訪する方の利便性確保につきましても、検討を進めてまいります。</p> <p>2 吾妻公園は、都市計画決定された公園であり、中心市街地に隣接し、恵まれた敷地規模を有しており、公園としての機能をさらに発揮させるため、世代間交流の拠点となる施設づくりを通じて公園の再整備を図るものです。</p> <p>3 現在の図書館の敷地は狭隘なため、駐車場も含め必要な規模を有した図書館の建て替えが困難であり、さらに、見込まれる補助事業もございません。また、木更津駅周辺においても広い用地を確保することが困難なことから、十分な駐車台数が確保でき、施設整備に対する財政負担の軽減も可能な吾妻公園に、多目的ホール・公民館などとの複合化を検討しております。 なお、アクセス面については、巡回バスの運行等により、車以外で来訪する方の利便性確保の検討も進めてまいります。</p>
15	<p>説明をうけて木更津駐屯地周辺の住民のための施設ではないかと思った。回遊の言葉を使用しているが他の木更津地域の市民にとって益があるのだろうか疑問に思った。</p> <p>吾妻公園にホールなどの文化芸術施設を建設することにも意見がある。吾妻公園は公共交通の利便性の高さがあるといっていたが、かりに建設されて公共交通を利用するとなると混雑するという予想がつく。車の利用にしても渋滞の恐れがある。駐車場も設計図によると入口、出口がヶ所所で渋滞するに違いない。君津の文化ホールしかりである。渋滞解消の計画の必要性を考えてはいけない。</p> <p>図書館について。幅広い年代の方が利用する施設と考えるか、できれば駅から近い場所がいい。歩いていける距離がいい。また、ホールにしても駅から近い方がいい。</p> <p>つまり、防衛省のまちづくり構想の予算を使うという考え方をかえた方がいいのではないか。木更津には公共施設の建設のための予算というのはないのか、不思議である。防衛省からの補助金を使うということは、騒音でうるさいと思うので周辺の皆様へお金を出しますということであり、防衛省のやることに意見をいえなくなることを危惧している。</p>	<p>施設整備にあたり、車両の分散を図るため出入口を数か所確保する等、渋滞対策の検討をすすめてまいります。なお、計画地は片側2車線道路に面しており、市内において最も交通環境の充実した地区と考えております。</p> <p>現在の図書館の敷地は狭隘なため、駐車場も含め必要な規模を有した図書館の建て替えが困難であり、さらに、見込まれる補助事業もございません。また、木更津駅周辺においても広い用地を確保することが困難なことから、十分な駐車台数が確保でき、施設整備に対する財政負担の軽減も可能な吾妻公園に、多目的ホール・公民館などとの複合化を検討しております。 なお、アクセス面については、巡回バスの運行等により、車以外で来訪する方の利便性確保の検討も進めてまいります。</p> <p>防衛省補助事業につきましては、これまでも基地と共存したまちづくりを行ってきた本市の歴史を踏まえ、施設整備に対する財政負担の軽減を図るため、「まちづくり支援事業」の活用を目指してまいります。</p>

No.	提出された意見	意見に対する市の考え
16	<p>1. 吾妻公園の縮小に反対です (1) 都市公園の価値の減少 吾妻公園には植栽された松の木が高木に成長し、木更津港を臨んで見事な景観を形成しています。木更津駅西口地区にはこれまで広い市立都市公園に恵まれず、わずかに鳥居崎海浜公園と吾妻公園が市民の安らぎ、ジョギング・散歩や運動など中規模公園の機能を楽しませてきました。 しかし、鳥居崎海浜公園はパークパイロプロジェクトで半分が集客施設に変えられ、吾妻公園も木更津飛行場周辺まちづくり基本構想(素案)(以下「素案」)P.21では、人工施設や駐車場が建設され、緑の部分は数分の一に減少が予想されます。 (2) 複合施設は必要か 素案P.19では、「文化芸術活動等を中心とした世代間交流の拠点」として多目的ホール、スタジオ、図書館、公民館の複合施設を計画されていますが、中規模ホールは「多目的ホール」なのかと驚きました。多目的ホールは現市民館中ホールあるいは公民館のホールで十分です。木更津市に欠落しているのは本格的コンサート、演劇等の公演が可能な、上質な座り心地の良い固定式椅子、レコーディング音響設備、場面転換のできる演劇装置などであり、可動式椅子で多目的に使えるホールではないでしょう。また、現在の木更津基地周辺は第一ヘリコプター団の騒音振動が大きく、静寂を必須条件とする芸術活動には不適です。 図書館、中央公民館はそれぞれの法律に基づく個別の役割があり、利用者のニーズも一概に複合効果は期待できません。両施設を所管する教育委員会の協議や合意をとって作成されたのか疑問に思います。複合施設の相乗効果があるならば、検討結果や立証を市民に公開してください。 (3) 防災上の問題はないか 吾妻公園は津波ハザードマップの浸水地域に入っていますし液状化の危険性もあります。現在各公立学校や公民館が避難所に指定されているのですが、防災グッズやトイレ、調理施設などの充実が望まれています。防災倉庫も安全なところに設置して、わざわざ市民は浸水地域に避難するでしょうか。帰宅困難者の受け入れも、2019年の台風では公民館・学校やスパークルシティが一時避難受け入れになっています。</p> <p>2. 市有地の活用が優先ではないか 旧市庁舎跡地計画は、公設地方卸売市場の検討としている(素案P.25)が、市場の必要性・継続性、今後の民間移譲など全く具体性がなく、旧庁舎跡地の盛土が地方卸売市場建設に支障がないかの問題が生じるのではないかと。「食」の機能も、パークパイロプロジェクトやイーオンタウンとの競合となり適切とは思えません。 市民会館大ホール・小ホールを廃墟のまま放置するのも無責任です。旧中央公民館跡地、旧保健相談センターなどの活用も計画されていない。</p> <p>以上から吾妻公園を削ってまで、施設建設の必要性、緊急性がなく、防衛省補助金の交付を目的に無理やり拙速に「基本構想素案」を作成したとしか思えない。</p>	<p>1 (1) 吾妻公園につきましては、公園としての再整備を図ることを目標に、都市公園法による建ぺい率を考慮した施設整備を行います。 また、屋内だけでなく、緑豊かな環境で屋外でも活動できる場の検討も進めております。</p> <p>1 (2) 吾妻公園に整備する文化芸術施設につきましては、令和2年6月に策定した「木更津市中規模ホール整備基本計画」で示すホールの方向性を踏まえた整備を進めてまいります。 また、基地と隣接している立地を考慮し、十分な騒音対策も備えた施設づくりを検討してまいります。 図書館、公民館につきましては、「木更津市公共施設等総合管理計画」、「木更津市公共施設再配置計画」において、将来に負担を残さない健全な行財政運営を行うため、公共建築物の建替えの際は、統合及び周辺の公共建築物との複合化を図るとする方針に基づき、複合化を進めてまいります。</p> <p>1 (3) 吾妻公園の周辺には津波に対応した避難場所がないことから、周辺住民や施設利用者が避難できるような施設整備を検討しております。 なお、施設整備にあたりましては、ハザードマップにおける浸水高を踏まえ、盛土等による浸水対策を講じる等、利用者の安全確保に努めてまいります。</p> <p>2 公設地方卸売市場の検討につきましては、今後策定する公設地方卸売市場経営戦略のなかで、市場運営、投資・財政計画等を整理し、目指すべき市場の姿と方向性を検討することとしております。</p>
17	<p>お世話になります。 私は40代医療従事者でクリニック勤務の臨床工学技士です。この数年コロナ禍という事もあり自粛生活としていた中で、感染対策が確立された頃に弓道体験入学を経てヒトとしてメリハリのある日々を得ました。そんな中、本案件を耳にし調べたところ平成30年度で利用日数221日、利用者数6千人前後、更には高校生から後期高齢者まで年齢層も幅広い事がわかりました。 私の幼少時は木更津駅前と言えば煌びやかでしたが少し前は銀行とシャッターくらいしか無く、今では繁華街として栄えてきているのは皆さまのお力だと思えます。今回拝見した素案についても駅西口を中心としますます発展する事と思えます。しかしながら弓道場について「移転も含め検討します」とありましたので弓道場の移転・存続を強く願う意見書として提出させていただきました。ぜひご検討の程よろしくお願い申し上げます。</p>	<p>本市が更なる魅力的なまちとしてあり続けるため、「みなとまち木更津の再生」に向けた取り組みを加速させるとともに、市民が安心安全に暮らせるよう「災害に強いまちづくりの実現」のための施設整備等を目指してまいります。</p> <p>弓道場につきましては、存続する方針でございますので、「市民体育館周辺への移転も含め検討します」の記述を、「市民体育館周辺等への移転を検討します」に変更させていただきます。</p>
18	<p>事業案における弓道場移設に関して、「市民体育館周辺への移転を含め、検討します」とありますが、仮に移転がなされず現弓道場が取り壊されてしまう場合、木更津市にて弓道を行う場所がなくなってしまうので移転していただけたら、と思います。また、なるべく空白期間が無いようにしていただけたら幸いです。 また移設後は近隣のいくつかの中学校に近くなりますので提案として複数校合同で一般的な部活動よりもだいぶ緩い(練習は自由参加など)弓道部を新設されてはいかがでしょうか？ (指導は同じ時間帯に来ている弓道会の方にお任せして顧問の先生などは事務的な仕事にとどまる形) 当方は中学生のころ弓道部が無かったため木更津市弓道会にてお世話になっておりましたので弓道部があれば入りたい人のために中学弓道部を検討いただけたら幸いです。</p>	<p>弓道場につきましては、存続する方針でございますので、「市民体育館周辺への移転も含め検討します」の記述を、「市民体育館周辺等への移転を検討します」に変更させていただきます。</p>

No.	提出された意見	意見に対する市の考え
19	<p>私は木更津市に在住し弓道に勤しむ者ですが木更津市のまちづくり基本構想に賛成し、市の活性化に協力したいことから1点だけ意見（要望）を提出させていただきます。Ⅲまちづくり基本構想 5. 基本理念等 5-3. 整備方針 (5) その他地区の検討 の記載事項に「重点地区を整備するなかで影響が生じる以下の地区についても、検討の対象とします。・吾妻地区にある弓道場については、市民体育館周辺への移転も含め、検討します。」とありますが、是非とも移転していただき弓道場の存続をしていただきますようお願い致します。</p> <p>弓道は日本古来からの武道として人間形成の上でも多くの有効な要素を含んでおります。木更津市には多くの師範の先生がいらっしゃり千葉県弓道連盟でも有力な地位となっています。毎年、弓道教室も開催し、市民も多く参加し心身鍛錬に触れることができる場にもなっております。</p> <p>また市内外の高校にも弓道の部活があり、段級審査の練習の場としても活用できると思います。</p> <p>以上のことから是非、弓道場の存続をお願い致します。</p>	<p>本市が更なる魅力的なまちとしてあり続けるため、「みなとまち木更津の再生」に向けた取り組みを加速させるとともに、市民が安心安全に暮らせるよう「災害に強いまちづくりの実現」のための施設整備等を目指してまいります。</p> <p>弓道場につきましては、存続する方針でございますので、「市民体育館周辺への移転も含め検討します」の記述を、「市民体育館周辺等への移転を検討します」に変更させていただきます。</p>
20	<p>木更津飛行場周辺まちづくり基本構想について市の広報等により知りました。近年金田地区めざましい発展、道路の整備等により私の住んでいる岩根地区も生活の利便性が向上し住みやすいまちとなりました。吾妻地区周辺も環境の良い所で公園等子供が小さい時から利用していました。今回再開発により弓道場の移設が検討されているようですが、ぜひ弓道場の移設をお願いしたいと思っています。吾妻に弓道場があり子どもも興味を持ったことがきっかけで弓道会に入りました。どういうわけか自分が懸命に稽古するようになってしまいました。私は元々剣道をやっていた所、老若男女が生涯スポーツとして続けていける良さから弓道が続いています。高齢から始める方も、中学生から始める子も多様性を持ってお互いを助け合い稽古できる武道として心身の健康的な活動を楽しめる貴重な場所としてあってほしいと切に願っております。中学生の体育の授業の武道で興味を持ったりする事もあるようです。スポーツとしての勝ち負けだけではなく、一生懸命に頑張ることが認められる場所として生涯スポーツの場所が存続させて頂ければこれからの発展にさらに良い方向に進めるのではないかと考えています。弓道場の移設が滞りなく進みますようにご検討をお願いします。</p>	<p>弓道場につきましては、存続する方針でございますので、「市民体育館周辺への移転も含め検討します」の記述を、「市民体育館周辺等への移転を検討します」に変更させていただきます。</p>
21	<p>標記の件につきまして南房総地区の中核都市とし、魅力あるまちづくりを行うことは総論的には賛成であり、早期に実現することを期待します。</p> <p>個々の素案のうち、小職のプライベート活動である「弓道」について活動拠点である吾妻地区にある弓道場が検討中とのことで具体的な移設案が提示されていません。</p> <p>つきましては早い時期に弓道関係者の意見をお聞きいただく検討の場を設置戴きたくお願いするところです。</p> <p>南房総地区には公的弓道場として、数か所が存在するものの設備的・地理的に公式大会や審査会が行えるよう状態ではありません。</p> <p>今回の移設を契機に南房総地区の拠点道場として公式行事が行えるように、又、弓道場は緊急時の避難場としても活用（東日本震災時の大槌町の事例）できるよう設計することで今回の災害対策にも活用できるものと思います。</p> <p>早急なる検討をすめるようお願い致します。</p>	<p>本市が更なる魅力的なまちとしてあり続けるため、「みなとまち木更津の再生」に向けた取り組みを加速させるとともに、市民が安心安全に暮らせるよう「災害に強いまちづくりの実現」のための施設整備等を目指してまいります。</p> <p>弓道場につきましては、存続する方針でございますので、「市民体育館周辺への移転も含め検討します」の記述を、「市民体育館周辺等への移転を検討します」に変更させていただきます。</p>

No.	提出された意見	意見に対する市の考え
22	<p>木更津飛行場周辺まちづくり基本構想(素案)を拝見させて頂きました。「みなとまち木更津の再生」「災害に強いまちづくり」と、市民の一人として賛同できる内容と思い、成功し、更なる発展を遂げることを望みます。</p> <p>さて、私事ですが、木更津に生まれ木更津で育ち、また、現在も一市民として暮らしております。10年程前から、子育ても終わり自分の為の時間を持つようになりました。健康のため、子育ての時とは違った仲間作りを考えていた時に、弓道に出会いました。</p> <p>その当時の年齢は50歳、何も知識の無い私でも出来るのかと不安もありましたが、弓道は年齢、体力に応じた道具を使用するので、高齢になっても続けられる事を知りました。</p> <p>又、大会や審査もあるので体力向上、知識を深める等、良いことばかりでした。今では私にとって、弓道は生きがいとも言えます。</p> <p>しかしながら、今回の案件の中に「弓道場は移転も含め検討します」との事。もしかしたら弓道場がなくなってしまうのではと、とても不安に思っています。生涯スポーツとして弓道を続けていきたいので、是非とも弓道場の存続をお願いいたします。</p> <p>素案では、現在の弓道場の場所は駐車場になっていますね。</p> <p>出来れば同じ場所でも思いますが・・・</p> <p>現在、木更津市の市民体育館には、柔道場及び剣道場があります。老朽化に伴う市民ホールの解体があると伺っております。その敷地内に弓道場を建設して頂き、木更津市の武道館と言えるような場所にするのはどうでしょうか。</p> <p>現在、中学校では武道の授業があると聞いております。柔道、剣道に並んで弓道があっても良いのではないのでしょうか。</p> <p>弓道は武道でありながら、他の武道と異なり「人」ではなく「的」を相手にするスポーツです。自身の敵は自身なので、平常心を保つ事ができるように修練します。「自分自身を見つめ直す」学生の頃から、弓道のような武道に触れることも良いことではないのでしょうか。</p> <p>素朴で親しみやすい弓道、老若男女問わず一人でも多くの方に触れてもらいたいです。</p> <p>そのような思いもあり、今回の「弓道場存続の件」ご検討の程、よろしくお願い致します。</p>	<p>本市が更なる魅力的なまちとしてあり続けるため、「みなとまち木更津の再生」に向けた取り組みを加速させるとともに、市民が安心安全に暮らせるよう「災害に強いまちづくりの実現」のための施設整備等を目指してまいります。</p> <p>弓道場につきましては、存続する方針でございますので、「市民体育館周辺への移転も含め検討します」の記述を、「市民体育館周辺等への移転を検討します」に変更させていただきます。</p>
23	<p>木更津市飛行場周辺まちづくり構想についての考案を拝見させていただきました。木更津という街が活性していくことには、中学生の娘を育てる上でも、心から賛同し、是非実現して頂きたいと考えます。</p> <p>ただ、弓道場の移設を検討する。について、存続、または移設を確定していただきたく投書いたしました。東京で生まれ育ち結婚を機に木更津へ来た私は、高校時代に弓道を始め、東京ではなかなか弓を持っての交通手段などの問題で続けられず、30年ぶりに木更津の弓道会に入会させていただき弓道を再開しました。高校時代に憧れていた遠的場、目の当たりにして興奮しました。</p> <p>狩猟目的で生まれた弓矢が長い年代の中で、武道となり神事となった弓道です。源氏物語の中にも弦音で魔を払う場面があります。弓道は長い年月の中で文化となっています。しかし残念ながら、弓道とって正しく知識を持っている人はほとんどいません。アーチェリーと混合してる人のなんと多いことか。日本の誇るべき美しい文化（現在は海外の方の方が日本の美として認識しているような気がします）が日本人にとって遠いものとなっているのは、とても残念なことです。</p> <p>新しい町並みは予算さえあれば作っていきます。しかし、文化は途絶えしまったら、それは継続した文化ではなく、ネオ文化風、別ものともまでいってしまうのは乱暴ですが、途絶えさせてしまえばいけないものが文化なのだと思います。弓道に限りますが、木更津が持っている、他の街にはない良いところ、文化、気風を、外見だけ綺麗に整えることで無くすことなく、継続していただけたらと考えます。</p>	<p>本市が更なる魅力的なまちとしてあり続けるため、「みなとまち木更津の再生」に向けた取り組みを加速させるとともに、市民が安心安全に暮らせるよう「災害に強いまちづくりの実現」のための施設整備等を目指してまいります。</p> <p>弓道場につきましては、存続する方針でございますので、「市民体育館周辺への移転も含め検討します」の記述を、「市民体育館周辺等への移転を検討します」に変更させていただきます。</p>

No.	提出された意見	意見に対する市の考え
24	<p>木更津市飛行場周辺まちづくり基本構想（素案）について 個人的意見（参考になれば幸いです） 木更津市民として、また弓道を楽しむ一人として意見を述べさせていただきます。 基本計画をフローダウンした公共施設再配置計画のなかで、もしくは一部として本基本構想の策定にあたっては、大変なご苦労があったこと、市の発展のためにご苦労されたこととお察しするとともに感謝申し上げます。 さて、本基本構想を読ませて頂きましたが、いくつかコメント及び質問をさせていただきます。特に弓道場の記述について「5-3.整備方針」の「(5)その他地区の検討」の弓道場の記述「吾妻地区にある弓道場については、市民体育館周辺への移転も含め、検討します。」について、ぜひとも移転・再配置をお願いします。 なお、弓道を楽しむものとして弓道場を使って頂いている袖ヶ浦市民の思いを添付させていただきますので、ぜひお読みください。</p> <p>1. 弓道で生涯学習年齢になっても元気に体力維持ができる。市民がたくさん参加している。 今後、ますます高齢化・少子化が進む中で、激しい運動ではないが、筋肉を使い、維持できる運動として弓道は貴重と考えます。木更津市も多分に漏れず高齢化が問題な中、ボケの防止や骨粗しょう症防止等による等の健康維持活動は、市としても有用なものと思うがいかがでしょうか？ また木更津市は、江戸時代から栄える交通・文化・芸術活動の千葉における一大拠点であり、その復権を市民としても望むところであります。弓道は礼を重視する伝統文化であることから、市の賑わいをとり戻す文化芸術活動の一アイテムにも成りうるものではないでしょうか。 弓道は、ずっと興味があつたけれどもなかなか勇気や接点がなかった人達が思い切って飛び込んでくることが多く、老若男女が分け隔てなく始め、教え合う貴重な活動とも言えるものです。ご担当者様におかれては、弓道をご覧になったこと、あるいは体験されたことがおありでしょうか？是非とも体験して頂き、その本質を見て頂ければと思います。</p> <p>2. 市の都市計画について 木更津市公共施設再配置計画第2期実行プランのなかで弓道場の移設先に明記がありません。 その一方で本まちづくり基本構想では、弓道場の扱いに関して、廃止が選択肢の一つとも読み取れます。移設が他の施設の再配置と比べても妥当ではないでしょうか？廃止が選択肢の一つとお考えでない場合、その表記方法を再考頂きたいと思いがいかでしょうか？</p> <p>3. 千葉県弓道連盟（全弓連）との調整 弓道場を主に利用しているのは、県連木更津支部所属の木更津弓道会ですが、仮に弓道場がなくなると、県連木更津支部の存続についても、県連と調整していただく必要があります（県連からの要望を聞いてもらう場が必要）。 また、本弓道場の利用者は、市内在住者だけでなく富津、袖ヶ浦、市原在住者のみならず、防衛省（自衛隊）にも赴任期間においては会に入って利用される方も多々いらっしゃいます。「まちづくり支援事業」の採用を目指すならば、考慮すべき事項かと考えますがいかでしょうか？</p> <p>4. 千葉県の中での位置（県南における大会会場の中心） 連盟の拠点は千葉市（千葉県弓道場）ですが、広い県内における県南の大会開催地として、近的場、遠的場を備える大きな木更津弓道場は、大変有用に使われてきました。今後においてもその有用性は維持することが市民、県民のためになると思われまます。なお、公共機関（木更津駅）から徒歩を可能とすることのメリットは大きく、移転先は体育館付近が妥当ではないかと考えます。</p> <p>5. 防災拠点としての有効性 弓道場は防災拠点としての活用が見込まれます。防衛省「まちづくり支援事業」の趣旨のひとつとして移設の場合、「防災」の観点を考慮すべきと考えます。 高知県弥右衛門公園内弓道場、弘前運動公園内弓道場は、市もしくは県における防災拠点（化）指定されているようです。東日本大震災においては大槌町ふれあい公園内弓道場が三千人余の被災者の一時的な我が家となりました。また同弓道場は被災動物（ペット）の収用に活用されました。 弓道場はその構造上、屋外とのアクセスが良好で、物資集積場や急病人の受け入れが容易と考えます。特に遠的場は屋外とすることが多く、外部からの立ち入りを禁止するために高いフェンスを設置します。そのため災害時にはヘリポート、緊急車両、要人車両等の警備・保管区画としての活用も可能です。なお移設の際、立体配置（低層階＝近的場、高層階（屋上）＝遠的場）とすることも可能です。（実例として東京武道館）。 なお、これは希望ですが、現在地は市内外の皆様に知られにくい位置であり、移設を選択肢として考えて頂けるならば、是非ともオープンな施設として、皆様に頂ける移設場所でご検討頂ければと思っております。</p>	<p>弓道場につきましては、存続する方針でございますので、「市民体育館周辺への移転も含め検討します」の記述を、「市民体育館周辺等への移転を検討します」に変更させていただきます。</p>

No.	提出された意見	意見に対する市の考え
25	<p>木更津飛行場周辺まちづくり構想のついて素案を読みましたが、マチが活性化することは木更津に在住しこの近辺で事業を営む私にとっては非常に良いことでぜひ実現して頂きたいと思ひます。</p> <p>しかし現状吾妻公園に隣接している弓道場の移設を検討するとある一文について、何とか検討ではなく存続もしくは移設を確定して頂きたく投書しました。</p> <p>弓道会ではご高齢の方たちが40代の我々よりも姿勢良く体力も私よりあるんじゃないかと思うほど元気でこれは生涯スポーツとして長くやれる趣味としてとても良いのではないかと思ひ半年前に私も入会しました。これは健康にもいいので是非仲間も誘いたいと思ひます。木更津に弓道場がある限り弓道を続けさせてもらいたいです。</p> <p>木更津に50年以上前からある文化として、市民の健康づくりのため、何とか弓道場を残留もしくは移設できないでしょうか？ 体育館のそばでなくても他に有用な市内の土地があればそちらでも良いとは思われます。</p> <p>是非ご検討頂き実現していただくと幸いです。</p>	<p>本市が更なる魅力的なまちとしてあり続けるため、「みなとまち木更津の再生」に向けた取り組みを加速させるとともに、市民が安心安全に暮らせるよう「災害に強いまちづくりの実現」のための施設整備等を目指してまいります。</p> <p>弓道場につきましては、存続する方針でございますので、「市民体育館周辺への移転も含め検討します」の記述を、「市民体育館周辺等への移転を検討します」に変更させていただきます。</p>
26	<p>港町木更津の再生に向け駅周辺また内港地区の整備等を行う事は市全体の活性化につながり魅力のある街になる事は市民として大いに賛同いたします。</p> <p>また、木更津飛行場周辺の吾妻公園には災害に強いまちづくりの一環として[中規模ホール、図書館、公民館]の公共施設が整備され老若男女の交流の場として喜ばしく思ひます。</p> <p>しかし、吾妻公園には現在市営の弓道場が設置され市内外から多数の人たちが弓道精進の場とし利用させていただいてます。弓道場については市民体育館周辺の意見も含め検討のみが記載され利用市民としてはとても不安な毎日です。生涯スポーツ推進の1つとしてぜひとも利用施設の空白がなく継続しての利用ができる方向で検討実現されることを切に願う次第です。</p>	<p>本市が更なる魅力的なまちとしてあり続けるため、「みなとまち木更津の再生」に向けた取り組みを加速させるとともに、市民が安心安全に暮らせるよう「災害に強いまちづくりの実現」のための施設整備等を目指してまいります。</p> <p>弓道場につきましては、存続する方針でございますので、「市民体育館周辺への移転も含め検討します」の記述を、「市民体育館周辺等への移転を検討します」に変更させていただきます。</p>
27	<p>木更津飛行場周辺まちづくり基本構想によるとそのうち吾妻公園は「文化芸術活動等の機能を中心とした世代間交流の拠点となる施設づくり」とし、中規模ホール、公民館、図書館などの公共施設を整備するとなっております。</p> <p>木更津市民としてとてもありがたい案件でありますし、私も大いに利用させていただきたいと思っておりますが、一つ心配な事は現在、吾妻公園に存在する市営の弓道場の継続についてです。今、弓道場では男女問わず色々な世代の方が、たくさん利用しています。若い方だけでなく、年を取ってからでも始められる最適なスポーツであると思ひます。現実として道場を利用している方は、皆、若々しく生々としていらっしゃいます。是非、弓道場が継続利用できますようお取り計らいの程、よろしく願ひ致します。</p>	<p>本市が更なる魅力的なまちとしてあり続けるため、「みなとまち木更津の再生」に向けた取り組みを加速させるとともに、市民が安心安全に暮らせるよう「災害に強いまちづくりの実現」のための施設整備等を目指してまいります。</p> <p>弓道場につきましては、存続する方針でございますので、「市民体育館周辺への移転も含め検討します」の記述を、「市民体育館周辺等への移転を検討します」に変更させていただきます。</p>
28	<p>飛行場周辺の町づくり構想とその実現に国の補助事業である「まちづくり支援事業」を活用することに賛同します。</p> <p>現在の吾妻公園周辺は緑も多く、文化施設移転後も子供たちが十分に遊ぶことができるスペースと自然環境を残してほしい。</p> <p>さて、基本構想では現在公園内にある木更津市弓道場の移転先の記載がありません。現在、私は木更津弓道会会員で週に2~3回ほど弓道場で稽古をしており、健康で充実した日々を送っています。弓道は老若男女問わず高齢までできることのできる数少ない生涯スポーツです。市民の健康増進の観点からも是非とも新弓道場の移転計画をまとめていただき、再開発に伴う現弓道場解体前までは新弓道場が使用できるように願ひいたします。弓道場単体での建設が難しいときは総合武道場等の一部として歴史ある木更津市弓道場を存続させていただきたい。</p>	<p>本市が更なる魅力的なまちとしてあり続けるため、「みなとまち木更津の再生」に向けた取り組みを加速させるとともに、市民が安心安全に暮らせるよう「災害に強いまちづくりの実現」のための施設整備等を目指してまいります。</p> <p>弓道場につきましては、存続する方針でございますので、「市民体育館周辺への移転も含め検討します」の記述を、「市民体育館周辺等への移転を検討します」に変更させていただきます。</p>
29	<p>木更津飛行場周辺まちづくり基本構想では、木更津市が更なる魅力的なまちとしてあり続けるため、「みなとまち木更津の再生」「災害に強いまちづくりの実現」のための施設整備等を目指すことを目的とし、「防衛省まちづくり支援事業」を活用して、江川、吾妻、木更津駅周辺、旧庁舎跡地の施設整備を行っていくとしており、その方向性については大いに賛同いたします。</p> <p>一方で、吾妻公園内には陸自木更津駐屯地に隣接して弓道場があります。弓道場については基本構想5-3(5)において、「吾妻地区にある弓道場については、市民体育館周辺への移転も含め検討します」と記載されているのみです。</p> <p>弓道は高齢化社会ただなかにある我が国において、80歳を超える人でも楽しめる、生涯スポーツとも言えるものです。定年後に始める人も多く、女性でも男性と隔てなくできる、多くの人に親しまれているスポーツで、木更津市弓道場は多くの人に利用されています。</p> <p>また、弓道場は支援物資の一時置き場としても、一時避難場所としても活用が可能な施設でもあります。</p> <p>木更津市において弓道を行うことができる場所がなくなってしまう事態は、房総半島の中核都市たる木更津市の「魅力的なまちとしてありつづける」という本事業の目的にも合致しないと考えます。</p> <p>木更津市弓道場は陸自木更津駐屯地と最も近い市施設として何の問題もなく長きにわたり共存してきた施設です。「防衛省まちづくり支援事業」を活用するなら、当然に設置を配慮されるものと考えます。</p> <p>以上、「生涯スポーツ推進」の面から、また「災害に強いまちづくり」の面から、「防衛省まちづくり支援事業」活用の面から、弓道場の設置について基本計画に反映いただくようお願いいたします。</p>	<p>本市が更なる魅力的なまちとしてあり続けるため、「みなとまち木更津の再生」に向けた取り組みを加速させるとともに、市民が安心安全に暮らせるよう「災害に強いまちづくりの実現」のための施設整備等を目指してまいります。</p> <p>弓道場につきましては、存続する方針でございますので、「市民体育館周辺への移転も含め検討します」の記述を、「市民体育館周辺等への移転を検討します」に変更させていただきます。</p>

No.	提出された意見	意見に対する市の考え
30	<p>木更津飛行場周辺まちづくり基本構想（素案）によると、計画予定地である吾妻公園には現在市営弓道場が設置されており、私達弓道会の老若男女が生涯スポーツの一環として、日常的に利用させていただいています。</p> <p>素案によりますと、吾妻地区にある弓道場については「市民体育館周辺への移転も含め検討します」との事ですが、吾妻公園整備と同時に弓道場の移転を行っていただかなければ木更津市において弓道を行う場所がなくなります。何卒伝統ある木更津弓道会の在続、また、スポーツ推進の一環として、弓道の利用場所を空白期間なく設置していただく様、ご検討の程宜しく願い申し上げます。</p>	<p>弓道場につきましては、存続する方針でございますので、「市民体育館周辺への移転も含め検討します」の記述を、「市民体育館周辺等への移転を検討します」に変更させていただきます。</p>
31	<p>木更津の再生に向けた取り組み市外の知人達も木更津市の発展に興味を持ってきているようです。私はこの木更津市で弓道を始めて12年になります。遠の場も備えられた素晴らしい道場だと思っています。</p> <p>最近では小説や映画、ドラマやアニメ等メディアに取り上げられる事もあり、弓道に興味を持っている方も大勢いると思います。</p> <p>弓道は老若男女が楽しめるスポーツであります。今回の計画では吾妻公園の弓道場について「市民体育館周辺への移転も含め検討」となっています。今後共弓道を行なえる場所を設置してください。お願いします!!!</p>	<p>弓道場につきましては、存続する方針でございますので、「市民体育館周辺への移転も含め検討します」の記述を、「市民体育館周辺等への移転を検討します」に変更させていただきます。</p>
32	<p>吾妻公園は「文化芸術活動等の世代間交流の拠点となる施設づくり」として動いているようです。</p> <p>計画予定地には現在弓道場があり市民体育館への移転を含め検討中ということです。</p> <p>弓道場を利用している者として以下の理由により弓道場の移転の「実現」を強く希望します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 弓道は老若男女、年齢に関係なく楽しめる武道・スポーツです 2. 孤立しがちな私達高齢者にとって他の高齢者及び若い人々そして実際に社会で活動されている人々との交流の貴重な場となっています。 	<p>弓道場につきましては、存続する方針でございますので、「市民体育館周辺への移転も含め検討します」の記述を、「市民体育館周辺等への移転を検討します」に変更させていただきます。</p>
33	<ol style="list-style-type: none"> 1. 吾妻公園に文化芸術施設や商業施設の建設構想があります。 1. 現在、吾妻公園内には市営弓道場がありますが、弓道場に関する案件が、基本構想に見受けられず非常に危惧しております。 1. 防衛省の「まちづくり支援事業等」の補助制度の要件として「自衛隊員らと地域住民との文化交流」などが挙げられています。市営弓道場は木更津市弓道会の拠点であり、所属する自衛隊員も多数おり、正に地域住民との交流の場となっております。 1. 趣味の場あるいは、生涯スポーツとして男女の区別なく続けられる弓道は、健康維持のために幅広い年齢層に注目されています。道場がなくては続けることが困難です。 1. よって、吾妻公園内現地に、市営弓道場を存続して頂きたく強く要望致します。 	<p>弓道場につきましては、存続する方針でございますので、「市民体育館周辺への移転も含め検討します」の記述を、「市民体育館周辺等への移転を検討します」に変更させていただきます。</p>
34	<p>今回は「飛行場周辺まちづくり」ということですが、基本的な考えが良く見えません。</p> <p>昔、手拭いをほっかぶりした叔母さんたちが大勢で「路肩」の雑草を刈り、綺麗な道路を守る姿が消えてから何年たっただろうか？久留里線の鉄道の枕木は草だらけ！聞けば運行には問題はないという。</p> <p>雑草で事故が起きないから景観はいいんだ！という。矢那川の土手の桜は今年も綺麗に咲きました。でも木の下は枯草でぼうぼうでした。一体何のために「民営化」するのでしょうか？</p> <p>木更津市はいま、西口と東口が分断状態です。折角アカデミアパークを作っても駅と結ぶ大道路がない。なぜ駅の立体化を基本に据えないのでしょうか。アクアラインに鉄道を敷設しなかったのはなぜでしょうか？</p> <p>人間で言えば血管つまり状態です。ここを反省し血液サラサラ状態にしなければ手足は正常に動きません。飛行場周辺も正常に動かないと思います。</p>	<p>本まちづくり基本構想は、「木更津市基本構想」に掲げる「みなとまち木更津再生プロジェクト」の取り組みをさらに加速させるとともに、施設整備に対する財政負担の軽減を考慮し、「まちづくり支援事業」の採択を目指し、策定するものです。</p>
35	<p>今回の話は「木更津飛行場周辺」に限られたまちづくり基本構想でしたが、全体的なまちづくりに関しては、どのように考えられているのでしょうか？木更津市は防衛省の補助がなければ、独自の計画は無理ということのように思えてしまいます。先に市自体での計画があり、その上での国との関わりと思えるのですが。</p> <p>今回うかがった計画も、まだ総工費も出ていないようですが、「防衛省のまちづくり支援事業」頼りでは、市の独自性がないように思えます。</p> <p>今後の木更津市の全体的なまちづくり計画を示してほしいと思います。</p>	<p>市全体のまちづくりの方向性につきましては、木更津市基本構想や都市計画マスタープラン等においてお示ししており、本まちづくり基本構想は、「木更津市基本構想」に掲げる「みなとまち木更津再生プロジェクト」の取り組みをさらに加速させるとともに、施設整備に対する財政負担の軽減を考慮し、「まちづくり支援事業」の採択を目指し、策定するものです。</p> <p>概算事業費等につきましては、今後策定する「まちづくり基本計画」において精査してまいります。</p>